



香り立つ たちばな



母校校舎シリーズ(21) 「わかたちばな」像 制作 神野忠和元母校教諭

発行
福島県立
橋高等学校同窓会
(福島女子高等学校同窓会)

発行人
清水玲子

発行所
福島市宮下町7-41
電話(024)535-3395
FAX(024)535-3397

会員数
36,662名
(2014.3 現在)

母校創立 117年



たちばなの香り永遠に

同窓会会長 清水 玲子 (昭和29年卒)

先日、昭和二十二年卒業の後藤様から母校蔵書棚の一隅にでもと、冊子が寄贈されました。

母校が創立八十周年記念の年、当時の新聞に連載された母校の歴史が、一つの小史にまとめられて発刊された「高校風土記 香るたちばな」です。冒頭に、先輩の歩んだ道、後輩のがんばる姿を知ることが出来れば幸いです。明治、大正、昭和と時代を移した青春のぬくもりが伝わってきます。又お懐かしい先生方が登場されていることもうれしいことでした。因みに私は創立五十周年記念の年の在籍ですから、超学年ホームルーム制・自由選択講座制の語句に母校での青春が甦ります。異彩を放った戦後の教育制度の一つであったとか。いくつになっても母校の話題は楽しく懐かしいものです。

時代の要請・要望を適確に捉え、男女共同参画社会に於ける男女共学の橋高校となつて、はや一つの節目とも云われる十年を経ました。

日常の教育活動は活発に展開され、文武両道に着実な歩みが示されていることは喜ばしいことです。今年も全国大会に出場する個性

人と団体に本会は激励金を贈り更なる活躍を祈念しました。

又、伝統を継承しながらも、悩み、苦しみ、数々の討論を経て「新たな橘文化」を導き出そうとするその姿には感動を覚えました。母校健在の感を抱かせます。

さて、今年は二本松・郡山・市役所・東京の四支部から総会のご案内を頂きました。支部総会で聴く校歌に橋高校校歌を加えた支部も出ました。「今般は若い皆さんが手を挙げ会開催に尽力くださった」と、東京荒川新支部部長さん。支部は存続にも創意を加えつつ、本会と共に母校の為活動して居ります。心強い限りです。

同窓生は今年も叙勲の受章や大賞受賞の荣誉に輝かれた方々をはじめ、さまざまな場で突出したご活躍がありました。共に慶び合いたいと思ひますと同時に、現在学びの途上にある後輩達には素晴らしいキャリアモデルになる先輩達です。折にふれ生きたメッセージを送れたらなどと、ふと考えました。

会員皆様には同窓会への変わりぬご支援とご協力をよろしくお願い致します。

総 会 報 告

平成二十六年年度同窓会総会は、六月二十八日(土)福島グリーンパレス「瑞光の間」に於いて、招待者の恩師・母校教職員・各支部代表・新幹事、他に四のつく当番学年、評議員、事務局の総勢二六五名の参加で開催されました。

清水玲子同窓会会長、小浜宗一郎母校校長のあいさつがあり、来賓・恩師・支部の紹介、議長団選出と進み議事に入りました。平成二十五年年度事業報告、一般会計決算書報告ならびに会計監査報告、平成二十六年年度事業計画案、一



般会計予算書案の審議がなされ、満場一致で承認されました。また今年度は役員改選の年であり、新役員が承認されました。続いて懇親会に入り、数年来希望していた母校合唱部によるミニコンサートがあり、旧校歌、新校歌、その他懐かしい曲で青春時代に戻ったひとときでした。引き続き谷津節子さん(昭和34年卒)に仕舞「船弁慶」を披露して頂きました。

懇親会は美味しい料理の円卓を囲んで会員同志の会話が盛り上がり、楽しく賑やかな時間があったという間に過ぎ閉会となりました。



同窓生に感謝して

校長 小浜 宗一郎

同窓会の皆様には日頃より多大な御支援をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

今年度、水泳部、陸上競技部、山岳部、囲碁部、合唱部が全国大会に、卓球部、ソフトボール部が東北大会に出場、全国高等学校総合文化祭には美術部、管弦楽部、文芸部が参加するなど、運動面、文化面両方にわたって生徒の活躍がありました。

恵子生徒祭 朗読とギターで綴る恵子と光太郎の道程」を聴く機会がありました。プロジェクトを用いて関連する画像を映写するなど工夫もあり、また、ラジオ福島の菅原美智子アナウンサーの朗読が素晴らしく、感激しました。同窓生である高村智恵子について、生徒たちにもっと知ってほしいと思いました。

学校としては、在校生に対して同窓生の活躍を知らせるとともに、現在活躍中の方を講師に講演会を開催して、生き方を考えさせたり、進路意識の向上を図りたいと考えています。講師としてふさわしい方についての情報を学校にお寄せいただければ幸いです。

卒業生は、福島県に残って福島県のために、または日本や世界を舞台にして、福島県を忘れず、人類の未来のために尽力してくれるものご期待をしております。

平成25年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計決算書

Table with 2 columns: 収入金額, 支出金額, 差引金額. Values: 2,368,638円, 1,818,344円, 550,294円.

収入 (単位:円)

Table with 6 columns: 項目, 予算額, 補正額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

支出 (単位:円)

Table with 6 columns: 項目, 予算額, 補正額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 協力費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 予備費, 積立金, 寄付金積立, 合計.

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成25年 4月 7日 監査 山崎京子 宮澤芳子

平成26年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計予算書

Table with 2 columns: 収入金額, 支出金額. Values: 2,640,294円, 2,640,294円.

収入 (単位:円)

Table with 6 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

支出 (単位:円)

Table with 6 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 協力費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 予備費, 積立金, 寄付金積立, 合計.

(執行にあたっては項目間の流用を認めるものとする)

平成25年度同窓会協力金

自平成25年4月1日
至平成26年3月31日

Table with 2 columns: Item (e.g., 協力金, 預金利息) and Amount (e.g., 4,161,880).

Summary table for income and expenses: 収入 8,727,920, 支出 3,090,430, 次期繰越 5,637,490円

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成26年4月7日

監査 山崎京子
宮澤芳子

平成25年度同窓会協力金年別納入状況

Table with 3 columns: Graduation Year (e.g., 大正年代, 昭和元年~9年代), Number of Members, Amount.

(H25.3.19~H26.3.17)

協力金の推移

Table showing contribution trends from Heisei 7 to Heisei 25, including member counts and total amounts.

※平成18、19年度は110周年募金を含む。
母校への寄付6,021,000円

激励金贈呈式

全国大会出場の一部活動の母校生に、二十六年七月九日校長室において、



激励金贈呈の様子



同窓会の主な行事《平成26年度》

Calendar-style table listing various events (e.g., 大会出場母校生へ激励金贈呈, 同窓会) with dates and locations.

新役員紹介

本年度は役員改選時にあたり、総会において次の方々が選出され、会長より会計・書記・事務局長が指名されました。

Table listing the names and graduation years of the newly elected board members and staff.

新学年幹事

Table listing the names and graduation years of the new student council members.

お慶び

祝賀の言葉を贈る欄。卒業生からの祝辞やメッセージが掲載されている。

寄付金紹介

卒業生からの寄付金を紹介する欄。金額や名前が記載されている。

敬用

卒業生からのメッセージや祝賀の言葉を掲載する欄。

Table listing names and graduation years of members, organized by year.

Large table listing names and graduation years of members, organized by year from Heisei 25 to Heisei 24.



合 唱 部



管 弦 楽 部

橘高校 全国大会で大活躍!!

橘高校の生徒達は今年度も頑張りました。合唱部は全日本合唱コンクール全国大会に出場、八年連続入賞の快挙です。山岳部は男女共学になって男子としては初めての全国大会出場でした。その他運動部では、陸上部、水泳部が、文化部では囲碁部、美術部、管弦楽部、文芸部が全国を舞台に活躍してくれました。

部活動報告

◆ 全国大会出場 ◆

◎ 囲碁部

▽第38回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会全国大会
東京都 日本棋院会館

平成26年7月22日～7月23日
女子団体戦 高橋早紀・渡邊菜摘

▽第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会
茨城県 金澤萌生・鈴木彩友

平成26年7月29日～7月31日
男子個人戦 先崎亮一
男子団体戦 今野博斗

◎ 美術部
▽第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会
茨城県 茨城県立美術館

平成26年7月27日～7月31日
絵画 鈴木 萌

◎ 管弦楽部
▽第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会
茨城県 茨城県立美術館

平成26年7月28日～7月29日
文芸部

▽第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会
茨城県 茨城県立美術館

平成26年7月30日～7月31日
散文部門 高橋優希

◎ 陸上部

▽平成26年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会・秩父宮賜杯第67回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
山梨県甲府市 山梨中銀スタジアム

平成26年7月30日～8月3日
女子400mハードル 佐久間彩

▽第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」
長崎県諫早市 長崎県立総合運動公園陸上競技場

平成26年10月18日～10月22日
女子少年B走幅跳 梅津ことみ

◎ 山岳部
▽平成26年度全国高等学校総合体育大会登山大会・第58回全国高等学校登山大会
神奈川県 箱根山塊

平成26年8月8日～8月14日
安田裕敬・八木健洋
渡部広大・秋葉健太

◎ 水泳部
▽平成26年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
千葉県 千葉県国際総合水泳場

平成26年8月17日～8月20日
女子200m個人メドレー 渡邊佳恵
女子100m背泳 安田広佳
女子200m自由形 宍戸菜穂

◎ 合唱部
▽第67回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門Bグループ
岩手県盛岡市 岩手県民会館ホール

平成26年10月25日～10月26日
銅賞受賞

はつかしのあの顔の顔



昭和26年卒 からたち木曜会(第12回) 於: ホテル辰巳屋



郡山支部 福桜会のつどい 於: 郡山ビューホテル



橘クラブバスケット部総会 於: ローゼンケラー



水泳部



囲碁部



美術部



文芸部

平成26年度 入試合格状況

(4月1日現在)

Table with columns for National University, Private University, and University School, listing names, current status, and graduation rates.

※ 表中の数字は、「合格者数」である。
※ 表中の「過年度卒」欄の合格者数については、報告のあった人数を示している。



山岳部

平成二十六年三月卒業生の
大学合格等の進路状況

平成二十六年度センター試験が、
新教育課程への移行を翌年に控えた
入試であること、昨年度大幅に低下
した平均点がそれほど回復していな
かったこと(特に文系型の受験者
にとって国語の平均点が五〇%を
割ったことは心理的ダメージが大き
い)、それらのことから、本校でも
保守的な出願が目立った。そのこと
と、学年団の丁寧な進路指導のせい
もあり、四年制大学への進学率は約
八五%と例年より高く、浪人生は
一七名と例年より少ない。
国公立大学への進学者は一四一名
(合格者二二一名)を上回った反面、
難関大合格者は減少し、医学部への
現役合格者も出なかった。



第16回たちばなゴルフ会 於：パーシモンC・C



二本松支部 福松会総会
於：青年海外協力隊二本松訓練所



第23回FCからたち会総会 於：ホテル辰巳屋

なつかしき恩師

原稿を依頼されて、先ず自分の歳を考えた。七十六才である。立派な老人だ。教壇に立った当時に思い出せば、「誇りと情熱を持つべし」とか「人は毎年歳を取る。心に若さを持ち続ければ、いつでも若者だ」と言ってきた記憶がある。今考えると、自分に言い聞かせた言葉であったのだと思う。



思い付くままに

佐藤 善紘

昭和49年4月〜昭和61年3月
平成14年4月〜平成15年3月
在職(地学)
講師(化学)

さて、学校では山岳部の顧問を命じられた。夏の合宿は、毎年、飯豊連峰と朝日連峰を交互に一週間の日程で登った。辛くとも楽しい山行であった。忘れられないのは、ある年の朝日連峰の合宿だ。大井沢に入山した日から物凄い荒天。大朝日岳の水場で夜中にテントが飛ばされた。必死の思いで小国町へ下山したことである。

そんな部員の思いに強く押され、山々を登り続けた十三年間であった。

今の私は、クラブ「中央パソコン愛好会」の会長を務めている。技術指導も全て私の仕事である。会員は男十七名、女十一名、全員六十五才以上で八十五才の方もいる。経歴は大学教授、小中高教師、会社員、公務員、看護師、警察官など。毎週月曜日午前に中央学習センターで学習を続けている。内容はワード、エクセル、写真帳、紀行文、フォト・ムービー(写真を使ってのビデオへの編纂)、VDへの焼き込み、パソコンプリント、グリーティングカードの作成など。学習会での私は、熱が入ると福女時代の教師の姿に戻り福島弁でまくし立てるらしい。

この会員たちは戦後の荒廃した日本から繁栄の日本へと導くのに貢献してきた方々である。もう一つの人生をパソコンで心豊かな生涯を：と集まった方々でもある。会員へのお手伝いが出来ることの幸せを感じつつ、会員との深い絆を温める毎日である。

(福島市在住)

卒業生の活躍

歌と私

加藤(山浦)美千恵(昭和56年卒)



忘れもしない。小学校の歌のテスト前日。「かゝがやく夜空の〜」

初めの「かゝ」が高くて、喉が苦しく変な声しか出ない。困った。夜、テレビを見ていたら、歌手がきれいな声で歌っていた。「あつー喉の力を抜いてひっくり返して歌うときれいな声になる」裏声という言葉が知らなかったがスゴイことを発見した。

翌日、ウキウキして順番を待った。プロみたいにならないうちに裏声で歌って、きくと先生にほめられる。順番がきて歌い終わると先生は言った。「風邪ひいてるの?」私の裏声は細かい声だった。地声で元気に歌った子がほめられた。私は歌はダメなのだ。これからは器楽に生きよう、と決意した。福女に入学すると、器楽は十人の同好会。合唱部は六十余名で全国大会レベル。この中に入れば私も少しは歌がうまくなるかな?器

楽に生きると決めた私が、歌に生きることになった瞬間だった。現在は、東京二期会の会員として、東京都警視庁との契約による音楽劇、親子の絆コンサートや音楽療法的コンサート、福島市のチャリティーコンサートなどを行っている。これからも、多くの人に喜んでいただける歌を歌っていききたい。

加藤美千恵氏プロフィール

昭和60年	福島大学教育学部音楽科卒業
平成元年	西白河郡矢吹中学校勤務 県吹奏楽連盟より優秀指導者賞授与
平成3年	退職・上京
平成5年	東京コンセルヴァトアール尚美ティップルマコース卒業
平成13年	二期会マミーシンガーズとして活動 警視庁より二度感謝状授与

反芻する教え

大類 由紀子(平成9年卒)



福女時代であれ、中学時代であれ、先生の名前を忘れてしまったとして

も、個々の先生の顔・教科・授業スタイルは忘れないものです。時には、授業中のある一言も覚えていたりします。「愛される人間になってください」ある先生が生物の授業の中で、さりげなく発した言葉です。まだ十七歳だった私にとって、それは(容姿的に)かわいくなれと

いうことか?いや、そんな短絡的な意味ではないはずだ。どういふ意味だろう、先生はなぜそんなことを言ったのだろうと不思議に思ったものです。

教育に関わる仕事をしているからこそ、私は昔の自分の学校生活を振り返ることが頻繁にあります。他方、先生のことを、生徒からの目線ではなく、先生に近い立場から理解することができるようになりました。例えば、教員は、生徒一人一人がいい人生を歩めるように願ってやまないということ。生徒が想像する何十倍も。だから、卒業したあともずっと気にかけてくださる。

前述の先生の言葉: 社会人になった今なお、その言葉の意味を追い求め続けています。ようやく最近になって、愛される人間を目指すということ、一人の優しさを愛することが出来る人間になることではないかと思えるようになりました。そう目指すことで人を愛することができ、また、それが返ってくるようになり、自分の人生が豊かになったからです。とてもありがたい気づきでした。

時を越えて理解させようとする、そんな学びを与えてくださった「恩師」に今頃になって感謝する日々です。

大類由紀子氏プロフィール

東北大学大学院法学研究科修了後、平成十五年文科省に入省。同省初等中等教育局参事官補佐を経て、平成二十六年四月文科省から出向し、女性として初の福島県教育庁教育総務課長に就任。

同窓 ニューズMEMO

平成27年度(2015年) 総会のお知らせ

とき
平成27年 6月27日(土)
11:00~14:30

ところ
福島グリーンパレス
(福島市太田町13-53)
TEL.024-533-1171

当番学年
卒年に**5**のつく学年

内容
総親会

会費
5,000円

6 28	6 28	6 25	6 29~24	6 21	6 7	6 31~1	5 28	5 25~16	4 24	4 19	3 13	3 31~11	月 日	
昭 和 4 4 年 卒 学 年 同 期 会 ホ テ ル 福 島 グ リ ン パ レ ス に て 開 催 7 0 名 出 席	昭 和 3 4 年 卒 学 年 会 ホ テ ル 福 島 グ リ ン パ レ ス に て 開 催 6 0 名 出 席	二 本 松 支 部 (福 松 会) 総 会 ホ テ ル 福 島 グ リ ン パ レ ス に て 開 催	加 藤 好 子 油 絵 展 「 天笑 」 三 枝 社 画 廊 に て 開 催 二 本 松 支 部 (福 松 会) 総 会 ホ テ ル 福 島 グ リ ン パ レ ス に て 開 催	昭 和 3 6 年 卒 加 藤 好 子 様 国 立 小 劇 場 に て 開 催	平 成 3 年 卒 遠 藤 千 晶 様 日 本 音 楽 の 光 輝	昭 和 3 2 年 卒 大 方 斐 紗 子 様 コ ン サ ー ト 「 エ デ ィ ツ ト 」 ア フ に 捧 ぐ」 県 文 化 セ ン タ ー に て 開 催	昭 和 2 6 年 卒 佐 藤 常 様 日 本 画 作 品 展 カ フ エ ル ・ レ ヴ に て 開 催	第 1 6 回 「 タ チ バ ナ 」 モ モ に て 開 催 第 1 6 回 「 タ チ バ ナ 」 モ モ に て 開 催	昭 和 3 9 年 卒 大 竹 京 様 パ ン ド ラ 賞 受 賞 祝 賀 会 ホ テ ル 辰 巳 屋 に て 開 催	昭 和 3 2 年 卒 明 石 英 子 様 作 品 展 キ ャ ラ ー モ モ に て 開 催	平 成 3 年 卒 遠 藤 千 晶 様 日 本 フ ィ ル と 協 演 機 浜 み な と み ら い ホ ー ル に て 開 催	昭 和 2 6 年 卒 安 藤 幸 恵 様 石 井 道 子 様 二 人 の 和 紙 小 物 展 「 和 紙 に 魅 せ ら れ て 」 二 本 松 和 紙 伝 承 館 に て 開 催	月 日	
3 11	2 4	1 24	1 20~15	1 17~12	1 25~20	11 16~11	11 22	10 5	10 20	9 11	7 4	月 日		
郡 山 支 部 (福 松 会) 総 会 郡 山 ヒ コ ー ホ テ ル に て 開 催	昭 和 2 6 年 卒 ホ テ ル 辰 巳 屋 に て 開 催	橘 ク ラ ブ バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部 総 会 ロ ー ゼ ン ク ラ ー に て 開 催	東 京 支 部 総 会 ア ル カ デ ィ ア 市 ケ 谷 に て 開 催	市 役 所 支 部 総 会 ホ テ ル 福 島 グ リ ン パ レ ス に て 開 催	昭 和 5 0 年 卒 峰 八 州 子 様 第 1 2 回 降 八 州 子 展 中 合 一 番 館 に て 開 催	昭 和 5 2 年 卒 阿 部 敬 子 様 六 戸 美 喜 子 様 砂 川 玲 子 様 「 8・O C T E T 」 展 福 島 テ ル サ 4 F キ ャ ラ ー に て 開 催	昭 和 4 0 年 卒 赤 井 由 紀 様 第 7 回 福 島 県 在 京 美 術 家 協 会 展 出 展 東 京 中 央 区 日 本 橋 キ ャ ラ ー 白 合 に て 開 催	平 成 2 7 年 昭 和 3 9 年 卒 佐 藤 幸 代 様 昭 和 4 0 年 卒 赤 井 由 紀 様 第 7 回 福 島 県 在 京 美 術 家 協 会 展 出 展 東 京 中 央 区 日 本 橋 キ ャ ラ ー 白 合 に て 開 催	平 成 3 年 卒 秋 葉 珠 実 様 「 あ る い て し ら う 」 あ き は た ま み 展 中 合 一 番 館 に て 開 催	須 賀 川 支 部 「 否 定 3 5 周 年 」 総 会 ホ テ ル 虎 屋 に て 開 催	市 役 所 支 部 講 演 会 ア オ ウ ゼ に て 開 催	平 成 3 年 卒 遠 藤 千 晶 様 C D 発 売 予 定 「 第 一 章 」 福 島 へ の 思 い」 第 一 章 福 島 へ の 思 い」 第 一 章 福 島 へ の 思 い」 第 一 章 福 島 へ の 思 い」	朗 読 吉 永 小 白 合	月 日



東京支部総会・懇親会 於：アルカディア市ヶ谷



須賀川支部総会 於：ホテル虎屋

「支部会が活気ある懇親の場に」
荒川(増子)三千枝(昭和31年卒)
平成二十六年六月、東京支部長として本部の総会に出席させていただきました。胸にこみあげるものを感じました。東京支部では運営する役員の交代ができないとか、会員の集まりが少なくなってきたとか、他の支部と同じような悩みをかかえていました。

昨年十月五日、勇気ある後輩が中心になり、東京支部総会・懇親会が清水同窓会会長、石井副会長を迎え、アルカディア市ヶ谷で開催されました。四十名の参加でした。圧巻は活躍中の会員八名の発表でした。多彩ぶりに感心させられると同時に、りっぱな情報交換の場となりました。

震災や原発事故に負けないよ

うお互いに支え合いましょ。
(尚、二十四年、二十六年の懇親会で協力いただいた寄付金、合計八五、二七〇円は福島県保健福祉部児童家庭課の『震災ふくしま寄付金』に送りました。)

「支部活動再開へ」
須田(遊佐)良子(昭和33年卒)
私達の須賀川支部「牡丹会」は、昭和五十四年、当時の須賀川市と岩瀬郡内四町村をエリアに初代支部長根元なをさん以下会員数五十四名で発足しました。平成二十六年十月現在、名簿上の会員数は七十余名です。

ところが平成19年、村山(田中)昭子支部長(昭和26年卒)の急逝により大きな柱を失い支部活動は休会を余儀なくされ現在に至りませんでした。

本年は支部発足三十五年目の節目でもあり何とか再開し、支部発足にご尽力された先輩諸姉のご苦労に感謝し、同時に後輩の皆様方への架け橋となるように再開を計画しました。

そして平成二十七年一月二十四日(土)ホテル虎屋にて、盛大に支部総会をとり行うことができました。

東京支部

支部だより

FCからたち会

「母校へ「修学支援事業」開始」
斎藤(渡辺)ミヨ(昭和32年卒)
「FCからたち会」は設立二十周年を機に、未来の福島を担う人材育成を目的に平成二十六年十一月「FCからたち会修学支援事業」を立ち上げました。支援金は一人年額十万円、各学年一名、在学三年間支援し、返済不要の内容で支援を始めました。

一人でも多くの後輩が、夢の現に向かって前進できるよう、本支援事業により母校から多数の社会貢献に寄与する有能な人材が輩出されることを期待するものです。

修学支援事業の賛同者募集！
問合せ先
024-546-1134
代表 斎藤 ミヨ

愛知県支部設立総会

平成二十七年十月四日(日)
近県の方も参加下さい。
●連絡先
安城市緑町一-35-3
安藤(宇津木)幸恵(昭和35年卒)
TEL 0566-155-1104

支部一覧

支部名	支部長	卒年
東京	荒川(増子)三千枝	昭31
郡山	加藤(山本)幸恵	昭28
会津	佐藤(中川)洋子	昭28
津	坂内(大島)ヨシ	昭36
(事務局)	佐藤(二階堂)浩子	昭37
須賀川	須田(遊佐)良子	昭33
(事務局)	大松(桜田)良子	昭28
二本松	渡辺(渡辺)道子	昭36
本宮	高橋(千田)幸子	昭30
保原	熊坂(林)節子	昭23
川俣	斎藤(佐藤)幸子	昭18
飯坂	斎藤(丹野)ツヤ	昭31
原町	奥山(宇野)美喜子	昭37
ハワイ	TANIGUCHI(美城)	昭18
福島県役所	FURUGES(TOMIKO)	昭37
福島市役所	渡部(佐々木)美香	昭51
たちばな会	羽田 優子	昭48
福島市役所	たかはな会	昭54
(事務局)	(野野)専(さかえ)	昭54

※各支部のTELは同窓会事務局(Tel.024-535-3395)までお問い合わせ下さい。

学年だより

若さを取り戻す同窓会

五十嵐(山崎)マチ子 (昭和34年卒)

新緑が目映え風薫る季節、同窓会総会の日が近づいてきた。同窓会館の階段を上りながら聞こえてくる野球部の男子生徒の声や応援団の太鼓の音に、えっ！と驚く。かつて陸上部の練習でおかつぱ頭に短パン姿で校庭を夢中で走ったことを思い出し、フツと笑みがこぼれた。時代を感じさせられる。当番学年と言う事で度重なる幹事会に足取りも軽く出席。お会いする先輩・後輩も年の差を感じず楽しくお話しすることができた。



昭和34年卒 幹事

懇親会の余興には、かのスポーツウーマンだった谷津節子さんが仕舞「船弁慶」を皆様に披露。会場は我を忘れてうっとり。大拍手

が鳴り響き皆様の温かい心が胸に浸みました。総会終了後の「ワイワイ会」には同期生六〇余名が参加し、時が過ぎるのも忘れてコーヒータ임을楽しみました。次回の学年会、花たちばな34会一を来年六月に開催することを約束しました。こうして若さを取り戻す事ができたのも、同窓会あつての事、学年全員、感謝致します。とても素晴らしい総会、懇親会でした。

都合でご欠席の貴女へ

片島(長南)千枝子 (昭和44年卒)

同窓会のお話聞いてくださいな。卒業はアトにも先にも例のない「東大入試中止」の年度でしたよ。卒業後四十五年というけれど円卓の旧友は「四十五歳です」と主張しているかの面々。総会は承認の拍手で順調に進み、アトラクションの合唱がとても素晴らしかったわね。聞き入るってこのことね！と思った。壇上を注視する先輩の温かい眼差しが後輩にも届いたみたい。

学年会と同ホテル内の別会場で。記念撮影のあと、クラス毎にテーブルを囲み、まあ賑やかなこと。四十五歳じゃなく、紛れもない十八歳なのよ。私はさいたま市在住なので、ご案内を受けての出席。幹事さん方のお骨折りに頭



昭和44年卒 於：福島グリーンパレス

新たなスタート

新開(小山)あずさ (昭和54年卒)

が下がります。でもそのご苦勞で大勢さんが集い、笑顔まぶしい達成になり「十年と言わず三年毎にでも再会したいわね」の別れ際のセリフになりましたのよ。今回は貴女に逢いたいのです。

昨年十一月に学年幹事会の葉書を頂いてから私達は、「福女高五十四年卒学年会」を設立しました。学年幹事が役員となり、同窓会総会のご案内の作成と発送、会費の徴収、出欠確認、席表の作成と、仕事のない土曜、日曜に集まっ

総会を終えて

高橋(菅野)優子 (平成4年卒)

今回、初めて幹事会・総会に参加させていただきました。分からないことばかりで、先輩方にはご迷惑もおかけしたことと思いますが、準備から運営まで優しくご指導いただき、ありがとうございました。学年幹事も、自分が幹事であつたことすら忘れていた方もおりましたが、いざ準備が始まると学生時代の話に花が咲き、楽しいひと時を過ごすことができました。総会当日は、準備が遅かったため、二十名程度の方々しか参加できませんでした。しかし、伊東節夫先生や古川洋子先生にご出席いただき、懐かし胸が高ぶる思いでした。今回は、さらに多くの先生方や学年の皆様には是非参加して

て皆で準備し、同窓会に臨みました。何もできなかった十年前を反省し、しっかり準備できた今回の参加者は七十名。当日は皆、福女生に戻って楽しいひと時を過ごすことができました。私達も五十代を迎え、人生の折り返し地点に立ったように感じます。新たなスタートとして、今後役員幹事は毎年同じ日に集まり、五十四年卒学年会（還暦会？）ならびに十年後の同窓会総会の準備に向けて活動していくことを決めました。今回参加できなかった皆様も、次回はぜひ参加され、楽しいひと時を過ごしましょう。



平成4年卒 於：総会会場

あとがき

校長先生がご挨拶文の中で高村(長沼)智恵子について触れられました。折しも昨秋、地元紙に智恵子の人と生涯がシリーズで掲載され、読まれた会員もおられたと思います。特に母校生や若い同窓生にとっては、明治36年卒の大先輩である彼女を知る良い機会となったと思います。日本人の誰もが知る高村智恵子を先輩に持つことにあらためて強い誇りを感じたことでした。

いただき、高校時代を振り返りたいと思います。福女生は常に志を持ち、何ごとを行うにも躍動感に満ち溢れていると感じています。今回の総会では、このことを再認識することができました。十年後も笑顔で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

会員メッセージ

振込用紙の通信欄に寄せられた
メッセージを掲載します。

孫共々福女にお世話になりました。
今年米寿のお祝いをして貰い、とても元気に過ごしております。会報は確かに拝読致しております。

S 18卒 齋藤（鈴木）輝

※S18卒 齋藤輝様は平成26年12月
急逝されました。心よりご冥福を
お祈り申し上げます。事務局

おかげ様で102才になりました。
日中、ほとんど眠っていますが、主治医（福島出身）が福女の話を始めると目を開きなつかしげに話に加わります。卒業時に汽車通学の後輩から送られたという銅製の花瓶は、一日も欠かさずことなく、今も玄關に飾っております。（長女筆）

S 3卒 名村（鈴木）タツ

今年101歳になります。

S 5卒 山口（本間）ミツ

母は、96才になりました。老人ホームで寝たきりですが、元気にしています。（次男）

S 11卒 浦（大畑）百枝

卒寿になりました。水墨画展に出品受賞しました。

S 16卒 平賀（飛田）喬子

福女卒の自信は、今尚、私の生涯に輝きを与えてくれていきます。デイサービスに通っていますが、誰とでも仲良しになっています。

S 17卒 島貫（中村）千代

福島から川口市南鳩ヶ谷に来て丸11年になります。母の穏やかな表情が何よりの救いです。母は常に、世界が平和であるよう、このまま人類救済の道へあゆませて下さい。と祈ってくれています。今年も同窓会に協力を少しでも送れることができ、ありがとうございます。（娘より）

S 17卒 二瓶（佐藤）富子

会報いつも楽しく拝見しております。なつかしのあの顔のこの顔、学年だより、も楽しみの一つです。ありがとうございます。

S 23卒 浅見（田村）和子

同窓会だより嬉しく拝見して居ります。母校の発展と皆様の御多幸を願ひ上げます。ありがとうございます。

S 24卒 雁部（五十嵐）照子

私は母校の前を通る度に外壁のピンクに独り言を言っていたものでした。何でピンクなの？誰が決定したの？でも最近はピンクも色褪せて来てボヤキも出なくなりました。

S 27卒 奥山（三好）マサ

福島県立橋高校の御発展と同窓会諸姉の御健康を祈ります。

S 28卒 松井（神田）康子

いつも同窓、楽しみに拝読しています。当時の「福女」の事が、一瞬にしてよみがえります。フクシマのこと、いつも心援えています。

S 28卒 白井（白井）満智子

会報「同窓」をお送りいただきありがとうございます。昨年はS31年度卒の1年早い喜寿の会に出席し、約60年ぶりに懐かしいみなさんとお会い出来、女学生に戻り楽しいひとときをすごして参りました。役員のみなさん本当にありがとうございます。

S 31卒 川島（内池）秀子

送られてきた「同窓」を開いてみると、同期生の写真が目にとまっています。ルーペ片手に、食い入るように見入った。着物は姿はだれ？この赤い洋服の方は？膝痛のため出席できなかった私は、返す返すも残念でなりません。みんなに会いたくない！

S 31卒 谷（片平）チイ子

第64号「同窓」ありがとうございます。支部だよりに福島市役所の記事が目にとまりました。当時同窓会館「たちばなセミナーハウス」建設のかわりの中で「福島市役所たちばな会」が発足した事がなつかしく思い出されます。後輩のご活躍と母校のご発展をお祈りいたします。

S 31卒 富田（大内）則子

同窓会会報ありがとうございます。S31年卒「喜寿を祝う会」のお写真なつかしく、皆様お元気のことによりと存じます。

S 31卒 岡部（井上）セイ子

毎回の会報を楽しく拝読させて頂いております。合唱部の全国大会銀賞受賞おめでとうございます。私も75歳にして主人の率いる混声合唱団員の仲間と歌っております。母校のご活躍をお祈りします。

S 32卒 川畑（加藤）良子

毎年の会報を楽しみに拝読させて頂いております。少しですが、気持をお届けします。

S 33卒 須田（遊佐）良子

64号が手元に届き1年の経つのが早すぎる感じがいたします。いつもありがとうございます。

S 34卒 阿部（安濃）富久子

3・11を忘れないよう、今日振込みます。

S 34卒 山口（矢内）代子

同紙で皆様の笑顔にお会い出来るのを楽しみにしております。72才現役で働いております。

S 35卒 横島（大槻）捷子

いつも会報お送りいただき、ありがとうございます。

S 35卒 佐久間（関場）佑子

会報の発送をいつもありがとうございます。元気をいただいたております。

S 35卒 佐藤（遠藤）興子

会報いつも福女時代をなつかしく思い出しながら楽しく読んでいます。現在2つのコーラスグループの指導を続けています。山登りも楽しんでおります。

S 35卒 菅谷（須賀）悦子

女子高だった母校から男子が高校野球大会に出場して、応援しました。後輩の男子学生頑張れ！母校の発展をお祈りしています。

S 35卒 関（斉藤）泰子

母校校舎シリーズ（20）のしだれ桜すばらしいですね。ぜひ本物を見に行かなくちゃ。楽しみです。

S 36卒 滝川（角田）靖子

月日が立つのが早いこと、早いこと。同窓会会報、ありがとうございます。毎日地域の方々とワイワイガヤガヤとおしゃべりしています。ボケ防止になっていきます。

S 36卒 木村（斎藤）美智子

会員メッセージはとても楽しみに読ませていただいております。なのに協力金遅れがち……心苦しいです。

S 36卒 茅原（鈴木）洋子

大阪に来て50年余り、両親も亡くなり、帰郷することも少なくなり、とても寂しいです。同窓会には、皆様とお会いしたく出席する様に心がけて楽しい時間を過ごしております。遠くから1日も早い復讐を願っております。役員の皆様、御苦労様です。

S 38卒 浦野（前川）勝子

いつもお世話になっております。S35年4月入学式の時、先輩の方々がハモって下さった福女の校歌は感動！でした。今もはつきり覚えております。誇りに思える校歌でした。今は歌われなくなり寂しいですが、高校の校歌も聞いてみたいですね。

S 38卒 曳地（横山）展子

福女の校歌にあった信天山も阿武隈川も一日も早く元の姿になりますように。そして次の世代の若い人たちが、強く、元気に、豊かな日々を送れますように祈っています。

S 38卒 森川(高野)和子

福女は心の宝宝箱。年はとつても凜として生きていきたいです。秋田でボランティアでがんばっています。事務局の皆様、本当にありがとうございます。

S 38卒 村上(菅野)ハツ子

3月11日からもう3年ですネ。帰省すると、復興がすすんでいるのかと思いますが、心の復興はまだなのだからと心がいたみます。これからも、陰ながら支援してゆきます。

S 39卒 長副(堀田)妙子

娘の挙式場(橋山荘)で男子卒業生の会場係に大変お世話になりました。

S 40卒 金丸(安西)温子

40年度卒業生の皆様お元気ですか。震災前の同窓会でお会いできて、うれしかったです。つくばから皆様をいつも思い出しています。

同窓会会長の清水玲子様の美しい文章は、毎年心に染みて魅了されます。先輩にこのようなエレガントな女性がいらっしゃることを誇らしく思います。私もつくばで福島出身の女性として凜と生きていきます。

S 40卒 佐藤(小手森)美代子

いつもお疲れさまです。卒業生が各地で様々な活躍をされているのを知るととても嬉しいのです。今でも福女の友人はずーっと親友!ふる里を離れて40余年ですが、福島は原点です。ステキな福島に再び戻ることを祈念しています。

S 41卒 加藤(菅原)順子

役員の皆様、いつもありがとうございます。会報の中から懐かしいお名前を見つげ出すと、高校時代に時が遡り嬉しくなります。

S 41卒 砂子(武藤)栄子

年に何度か帰省しても、母校まではなかなか行けません。いつもバタバタで……。

S 41卒 粕尾(佐藤)裕子

人間はすべての人が心を合わせて、心の愛に生きなければならぬ。そのため人類は神から考へる自由ものを造る自由を与えられている。自由のはき違えにより、人類滅亡の武器を作り、死の灰を生む恐るべき核戦争へと追い込むことのないように祈ります。

S 42卒 綿引(二瓶)順子

いつも、懐かしく拝見しています。母校の未永い発展をお祈りしています。

S 43卒 横山(秦野)礼子

昨年の総会では、懐かしく思っ出席できる環境にある人が万難を排して集まってくださり、当番としてホッといたしました。家の周囲が除染後ホコリがひどくて、隣の大先輩や両親と共に、呼吸器の負担が大きく、福島の建築の低周波騒音等まだまだ厳しい毎日です。勤勉実直に祈りながら生きるつもりです。

S 43卒 河野(栗城)順子

故郷の便り、毎回楽しみにしております。

S 43卒 川島(金子)チエ子

「わが家のお付き合ひ帳」(幻冬舎ルネッサンス刊)は増刊になり、飯舘村「いいたてっ子未来基金」に寄付することができました。応援ありがとうございました。

S 44卒 吉田(吉田)祥子

一日も早い福島の復興を祈っています。

S 44卒 松田(服部)節子

後輩達の活躍素晴らしいです!私も今でも都立高校の保健室で働いています。

S 44卒 山口(渡辺)洋子

同窓会会報いつも楽しみに拝見しております。

S 47卒 庄司(長沢)真澄

愛知県在住の同窓生は何人ですか?支部は作れないのでしょうか?

S 47卒 渡辺(佐藤)淳子

遠く九州に移り住んで24年。今回はゆっくり同窓会会報読ませて頂き各方面で活躍されている福女生を思い、福女で過ごした3年間がとても懐かしく有難く胸が熱くなりました。故郷の復興と母校の発展を祈ります。

S 48卒 齊藤(草野)和恵

ツレアイの転勤に伴い、相馬・福島・浪江・郡山・福島・富岡・福島・郡山・福島・相馬・福島・喜多方と転々としてまいりました。このたび、退職となり、小野におちつきます。これからもよろしくお願ひします。

S 50卒 白石(松本)美喜子

一昨年は幹事として、昨年はアトラクシオンで同窓会総会に参加させていただきました。今頃になって、自分の中の「福女」への想いや、「同窓の絆の強さ」を実感いたしました。10年後もぜひ、元気に参加したいと思っております。ありがとうございます。

S 52卒 阿部 優子

遠く離れても母校の思い出は鮮やかです。又会える日を楽しみにしています。

S 52卒 岩崎(関根)玲子

妹が同窓会に出たがっています。連絡してやって下さい。昭和54年卒文系クラス幹事の年だと思えますので。

S 52卒 鈴木(安藤)美也子

昨年の同窓会総会に初めて出席させていただきました。とても楽しい時間を過ごさせていただきました。役員の皆様、幹事の皆様、お世話になりました。10年後も楽しみにしています。

S 53卒 松崎(森村)智子

「同窓」の「送付ありがとうございます。昨年の総会では当番学年幹事様お疲れ様でした。」

S 53卒 森山(木田)明美

同じ剣道部だった阿部さん、メッセジありがとうございます。私は平成4年に兵庫に嫁ぎました。こちらは黒田官兵衛で大変な盛り上がりです。

S 54卒 松本(八島)裕子

同窓会会報を楽しみにしております。64号で橋本英子先生のお顔を34年ぶりに拝見し、ベンチャーズで挑んだダンスの授業、みんなで踊ったYMCA、53年高校総体のマステージと、懐かしい3年間を思い出しました。今は青森から福島の復興を心より願っています。

S 55卒 鈴木(関場)美香

同窓第64号の橋本英子先生の「鹿跳び」とてもなつかしく思い出しました。

S 56卒 尾形(小坂)みな子

ごぶさたしております。子供がお世話になっており、在学中だけでも…と気持ちばかりですが、送金させていただきます。よろしくおねがいいたします。

H 元卒 佐藤(佐藤)尚美

福島と母校をいつも応援しています。

H 元卒 下平(飯土)由香里

今でも部活の仲間とは年に2、3回会っています。別の機会に15歳上のOGの方とお仕事することになり、福女の絆は強く長くつながっていることを改めて感じました。福女でよかったです。

H 17卒 沖 和 砂

いつも母校の頑張りを知ることができ、とても励みになっています。私も母校の名に恥じぬよう頑張りたいと思います。

H 20卒 菱 沼 麻 未

この度、法務事務官に任命され、法務省の職員として長野に勤務の運びとなりました。大学中退で、当時の先生方にはやっと良い御報告が出来ると共に、納めていなかった6年分の協力金を同窓会にお渡しする次第です。これからは、皆様方の治安を守る職務に邁進していきたいと思っております。

H 20卒 角 田 恭 平

昭和31年卒の金子(阿部)祥子様より「同窓」第64号発行後に、平成25年11月、厚生労働大臣功労賞を受賞されたとの連絡がありましたのでお知らせいたします。

